

(1) 山上げ園地の活用方法について

①山上げ開始時期：6月下旬～7月上旬

例 9月中旬に出荷する場合は、平地にて5月上旬～6月上旬頃に挿し木をし、7月20日頃に山上げる。(上記スケジュールのとおり)

②活用方法について

山上げる商品と平地に下ろす商品を上手くローテーションして活用する。ハウス1棟の参考活用方法は、以下のとおり。

ア ハウス面積1/4は秋出荷用苗(3.5寸：4800鉢)、親株(5寸：960鉢)を山上げ。

イ 残りの1/4は、秋出荷用苗のスペーシング場所として、残りの1/4は山上げた親株からの挿し穂を定植する場所として活用。

ウ スペーシング後、花芽に色が付いたら、平地におろす。

エ 平地に下ろした後は、1週間程度順化させ、出荷。

オ 親株採取後は、平地の親株と入れ替え、2週間後程度ごとに挿し穂を定植する等面積を有効に活用する。

(2) 挿し穂について

①平地の場合

時期：5月上旬～6月上中旬または6月下旬～7月上旬

ア 5月上旬～6月上中旬に挿し穂を採取する場合

(上記スケジュール表(秋出荷用)：挿し木の項目内スケジュール①)

☆メリット：枯死率が少ない。

☆デメリット：活着まで時間がかかる。

☆対策：発根後、セルトレーで管理する。

イ 6月下旬～7月上旬に挿し穂を採取する場合

(上記スケジュール表(秋出荷用)：挿し木の項目内スケジュール②)

この期間は高温により生育不良が発生するため対策が必要。

昼間：ミスト冷房+遮光

夜間：スポットクーラー

☆注意点：発根後いきなりミストハウスの外や山上げるのは×

理由：平地では遮光しているため、暗いところでピンチした後すぐに日照量が多い山に持って行くと芽吹かない。

(特にサンデーリップルでは顕著であるので注意が必要)

②山上げ園地の場合

現状、定植は平地で行っているため、山上げた親株から良質な挿し穂がとれても、親株を平地へおろし、挿し木すると平地の暑さで枯死してしまうことが問題である。そのため、山上げ園地内の空きハウスを挿し木育苗ハウスとして活用し、管理は当番制で行う等の方法を検討中。また、山上げていない生産者への苗の供給についても検討中。

(3) 定植について

定植は、平地または山上げ園地で行う2パターンある。

①平地の場合

☆時期：山上げる前に、平地で定植・ピンチを行う。

(7月中旬)

☆注意点：根が活着したらピンチする。

②山上げ園地の場合

山上げ後に、定植を行う場合は、以下の点に注意する。

☆山で定植する場合、土が乾く前、土を作ってから定植する。

☆土が乾かないように、定植しながら灌水する。

☆山上げ直後の親株は、平地で暗暑で管理されているため、山上げ後は、定植する前にセルトレーで1週間～10日間程度順化させてから定植する。

(4) スペーシングについて

・スペーシングした場合5寸は3倍、3～3.5寸は2倍に広がる。

・スペーシングの時期については、8月(長日条件下)までと9月以降(短日条件下)で分けて考える。

ア 7月、8月は、マーガレットの生育が良いため、いつものスペーシングより、早めの時期に行う。

☆注意点：

・根が動き始めてからでは遅い。

・最初から広げておくと枯れるので注意が必要。

イ 9月以降は、花芽が来るのが遅くなるため、スペーシングする時期も遅くなる。

(5) 施肥について

ビニールハウスではない場合、雨で鉢物マーガレットから肥料が流されるため、以下の対策が必要である。

①雨で溶脱しにくい肥料(例 オスモコートエグザクト)を使用する。

②こまめに施肥する。

☆注意点：

・雨が多いと土が硬くなるため、定植後すぐの苗は要注意。

根がまわってきたらOK

・灌水は自動灌水であるため、水はけが良い土が良い。

(6) 山上げの効果について

・4品種で開花促進

(サンデーリップル：2週間、ブリアンルージュ：3週間、ラブリーフレンド・ムーンライト：1ヵ月)

・花色等商品性の向上(別添)

・温度、日射量等で植物に適した環境だと判明(別添)

(7) 今後の方向性について

・マニュアルに沿った山上げ栽培の実施

・部会内での山上げ苗の供給体制の整備

・育苗ハウスの整備

・土、灌水方法の見直し

・病害虫対策の徹底(別添)

※平成30年度国産花きイノベーション推進事業にて山上げ栽培試験を実施